



和小だより

弟子屈町立和琴小学校

10月31日 発行者 校長 大山道弘

■学校教育目標

よく考え正しく判断できる子 (知)

強い心と体でやり抜く子 (体)

優しい心で助け合う子 (徳)



吾唯知足

校長 大山 道弘

足元を踊る色とりどりの落ち葉や頬を刺す冷たい風に、晩秋を感じる季節となりました。

今から20年ほど前、教員になりたての私はよく京都や奈良に旅行に行っていました。ユネスコの世界遺産に指定されている京都市の龍安寺は石庭が有名です。私は石庭の美しさよりも右のつくばい(手水鉢)に刻まれた文字が印象的でした。



これは中央の四角い穴を「口」の字に見立てて、その四方に囲まれた「五」「隹」「矢」「足」とそれぞれ合わせると「吾唯知足(われただたるをしる)」の四文字になります。禅の教えを図案化し表現したものとされています。

吾唯知足は直訳すると、「自分は満ち足りているということだけを知っている」となりますが、「満足することを知っている人の心は穏やかであり、満足することを知らない人の心はいつも乱れている」という意味とされています。

この言葉は、成長を望まず、現状維持で満足することではないと考えます。私たちは自分自身を見つめるとき、時として身の回りにある様々なものに気をとられてしまうことがあります。他人と比べてではなく、何が自分にとって必要で何が不要なのかを、きちんと見極めることができなくなってしまいます。人それぞれ、環境によって必要なものは違いますし、同じである必要もありません。

まずは自分を知り、受け入れます。その上で、何が自分にとって必要なのかを考えます。そして、成長のために手が届きそうな目標を設定することが重要になります。

野球で例えると、「大谷選手のようになる」や「メジャーリーグで活躍する」という夢をもつことは素晴らしいことです。しかし、それだけでは何をどのように取り組んだらよいか見当もつきません。そこで、自分の苦手なことを分析して、練習することが必要です。いきなり「大谷選手」ではなく、キャッチボールが苦手なら「ボールを相手の胸を目がけて投げる」という目標を設定して克服します。そして、次の目標に向けて進みます。つまり吾唯知足は、自分自身をしっかり見つめ、焦らずに一步一步成長することの大切さを伝えているのだと思います。

先日行われた学習発表会では、保護者や地域の皆様に温かい拍手を頂き、子どもたちは達成感にあふれていました。ありがとうございました。子どもたちは自分と向き合い、一歩前に踏み出すことができました。特に1年生は、入学した頃は人前での発表に苦手意識がありましたが、しっかりと発表できるようにがんばりました。ご家庭でもお子さんのがんばりを褒め、次の一歩につながるようにご協力をお願いいたします。

< 11月の行事 > 下校時刻は、前半が5時間・後半が6時間

日	曜	行 事	下校時刻	給食
1	金	安全点検日 個別面談①	14:00 14:55	○
2	土	週休日		
3	日	文化の日		
4	月	振替休業		
5	火	個別面談②	14:00 14:55	○
6	水	全校集会	14:00	○
7	木	個別面談③	14:00 14:55	○
8	金	避難訓練 防犯教室 ALT 個別面談④	14:00 14:55	○
9	土	週休日		
10	日	週休日 釧P連研究大会		
11	月	個別面談⑤	14:00 14:55	○
12	火	ALT	14:00 14:55	○
13	水	集合学習③	14:00	○
14	木	図書館バス 5年 EXPO 出前講座	14:00 14:55	○
15	金	ALT 5年食育授業	14:00 14:55	○
16	土	週休日		
17	日	週休日		
18	月		14:00 14:55	○
19	火	ALT お話タイム 5年地熱発電出前授業	14:00 14:55	○
20	水	ましゅうランド(1・2年)	14:00	○
21	木	5年食育授業 巡回スポーツ教室	14:00 14:55	○
22	金	ALT	14:00 14:55	○
23	土	勤労感謝の日		
24	日	週休日		
25	月		14:00 14:55	○
26	火	ALT	14:00 14:55	○
27	水	お話タイム	14:00	○
28	木	図書館バス	14:00 14:55	○
29	金	ALT 委員会	14:00 15:15	○
30	土	週休日		

和琴小学校ホームページ

学校の様子や地域的话题を配信しています。ぜひご覧ください。

<http://163.44.3.160/app-def/S-102/washou/>



10月の和っ子

■収穫祭

1日(火)に、低学年が収穫祭を行いました。自分たちで育てたジャガイモなどでカレーライスを作りました。

保護者の協力を受けながら、野菜を切ったり、煮込んだりと、子どもたちはみんなで分担しながら作業していました。おかげでおいしく作ることができました。大地の恵みに感謝です。

今年も無事に、農園活動を終わることができました。ご協力いただいた保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。



■摩周湖のあيس & 澤入牧場見学

7日(月)に、低学年は生活科の授業で「摩周湖のあيس」へ見学に行きました。アيسがなぜおいしいのかを質問し、材料においしい牛乳を使っていることがわかりました。

そこで、10日(木)は、その牛乳を生産する澤入牧場へ見学に行きました。おいしい牛乳ができる理由を調べました。良質なえさとストレスを与えないことが大切だと学びました。

仕事にもかかわらず、授業にご協力いただき、ありがとうございました。



■地域文化体験兼単P研～親子陶芸教室～

12日(土)に地域文化体験兼単P研として親子陶芸教室を行いました。講師の先生は、「北創窯」のH・Yさんです。Hさんは、子どもたちの思いを大切に、ものづくりの楽しさを感じられるよう、優しく丁寧に教えてくださいました。子どもたちは、マグカップや箸置き、置物など自分たちでデザインを決めて作りました。また、参加した保護者の皆様も、お子さん

をサポートしつつ、お皿や箸置きなどを作りました。林さんの温かい人柄を感じながら、作品づくりを楽しむことができた貴重な時間となりました。



■へき地校体験実習

15日(火)からの2週間、へき地校体験実習がありました。中学年にはN・S先生、低学年にはM・A先生が入り、複式の授業づくりや子どもとの関わりなど、様々な事を学びました。24日(木)に行われた実習期間の集大成としての研究授業には、大学の先生や本校の職員も参加し、授業参観や意見交流を通して、大いに学び合うことができました。

子ども達にとっても貴重な機会で、自分たちと年齢の近い大学生との出会いと交流は、大きな刺激となったことでしょう。別れは寂しいものですが、どこかで再会した時に、成長した自分を見せられるように、子ども達にも教育実習生にも、これからの日々を大切に過ごしてほしいと思います。



第2回学校運営協議会

<学校運営協議会とは?>

学校と地域をつなぎ、子ども達の教育環境を充実させ、それを地域の活性化にもつなげることを目的に、地域と学校の中心となって計画・検討を行う組織です。

10月11日(水)に今年2回目の協議会が行われました。学校からは前期の教育活動の様子や学校評価について説明し、出席者からたくさんの貴重なご意見をいただきました。

本協議会を通して、保護者の方や地域の方が子どもたちをあたたく見守ってくださっていることを強く感じました。いただいたご意見をもとにして、学校の教育活動を見つめ直し、より良い学校作りにつなげていきたいと思ひます。